

**2022年度 関西四大学
「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書**

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で14年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和3年における組織犯罪の情勢(第2章:薬物・銃器情勢)」によると、薬物事犯検挙人員は近年横ばいが続いています。覚醒剤事犯検挙人員については、依然として薬物事犯全体の検挙人員の5割以上を占めており、密輸入押収量も高水準で推移しています。大麻事犯検挙人員については、20歳代以下の若年層を中心に2014年以降増加が続き、2021年も過去最多となった前年を大幅に上回っており、若年層の増加傾向に歯止めをかける必要があるといえます。

また、昨今では乱用した者が重篤な症状を起こして救急搬送されたり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど社会問題化し、「危険ドラッグ」と総称された薬物について、政府は2014年に薬事法を改正(「医薬品医療機器法」)し、対策を強化しています。その結果、危険ドラッグの使用が原因と疑われる死亡事案が大幅に減少するなど、その対策に一定の効果が上がっている一方、インターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

なお、質問項目については、大麻が中心であったものから、2015年に「危険ドラッグ」を含む、危険な薬物全般について調査する内容に変更しています。今回も同様に、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接しているほか、引き続き、ごく少数であっても薬物に接触する危険性があることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

関西大学学長	前田 裕
関西学院大学学長	村田 治
同志社大学学長	植木 朝子
立命館大学学長	仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数 : 2022年度入学生 27,424名(関西四大学合計人数)
実施期間 : 各大学により定められた期間(2022年4~5月)
調査方法 : WEBアンケート
回答数(率) : 18,847名(69%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)

<回答>	2022年度	参考値
非常に関心がある	5.3%	2021年度との比較+0.3ポイント
ある程度関心がある	33.2%	2021年度との比較-1.4ポイント
どちらともいえない	28.5%	2021年度との比較+0.8ポイント
あまり関心がない	13.9%	2021年度との比較-0.1ポイント
ほとんど関心がない	19.1%	2021年度との比較+0.4ポイント

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の合計が「あまり関心がない」「ほとんど関心がない」の合計を2年連続で上回っており、薬物問題への関心が年々高くなっていることが伺える。

◇質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2022年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	77.8%	2021年度との比較-1.5ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	85.2%	2021年度との比較-2.5ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	92.0%	2021年度との比較-1.7ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	78.9%	2021年度との比較-2.1ポイント
あへん類(ヘロインなど)	60.2%	2021年度との比較-0.7ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	20.0%	2021年度との比較+0.5ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	52.9%	2021年度との比較-8.3ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	66.6%	2021年度との比較-5.3ポイント
知っているものはない	4.2%	2021年度との比較+1.4ポイント

LSD以外のすべての薬物の認知が下がっており、中でもMDMAと脱法ハーブなどの危険ドラッグの認知度の低下が顕著である。

◇質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

<回答>	2022年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	88.9%	2021年度との比較-1.8ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	0.6%	2021年度との比較+0.2ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	8.5%	2021年度との比較+0.8ポイント

「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、一方で「1回位なら使ってもかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生が一定数存在している。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

<回答>	2022年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	93.5%	2021年度との比較-1.8ポイント
購入を勧められたことがある	0.4%	2021年度との比較+0.2ポイント
使用を誘われたことがある	0.8%	2021年度との比較+0.2ポイント
無理やり使わされたことがある	0.2%	2021年度との比較+0.1ポイント
わからない	5.1%	2021年度との比較+1.3ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答がもっとも多かったが、一方で「購入を勧められたことがある」「使用を誘われたことがある」「無理やり使わされたことがある」と回答している学生が一定数存在している。

◇質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

<回答>	2022年度	参考値
いない	89.1%	2021年度との比較-2.0ポイント
いる(いた)	3.1%	2021年度との比較+0.7ポイント
わからない	7.7%	2021年度との比較+1.4ポイント

「いない」という回答がもっとも多かったものの、「いる(いた)」「わからない」が増加しており、薬物の所持または使用が身近なものとなっている学生が一定数存在している。

◇質問15(イ) 【質問15(ア)で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】どの薬物でしたか。(複数選択可)

<回答>	2022年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	8.4%	2021年度との比較+0.5ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	13.1%	2021年度との比較+1.9ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	54.0%	2021年度との比較-4.0ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	5.3%	2021年度との比較+0.3ポイント
あへん類(ヘロインなど)	1.0%	2021年度との比較-1.0ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4.1%	2021年度との比較-2.6ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	4.1%	2021年度との比較±0.0ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	5.7%	2021年度との比較-0.8ポイント
わからない	28.4%	2021年度との比較-1.6ポイント

引き続き大麻の比率が高い傾向にあるものの、前年度に比べて減少した。一方で、覚せい剤が増加傾向にある。

◇質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

＜回答＞	2022年度	参考値
警察の相談窓口	34.3%	2021年度との比較-1.1 ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	11.3%	2021年度との比較-0.6 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	8.5%	2021年度との比較-0.7 ポイント
医療機関の相談窓口	12.5%	2021年度との比較-1.4 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	9.2%	2021年度との比較-0.9 ポイント
知らない	57.2%	2021年度との比較+1.4 ポイント

薬物に関する相談窓口の認知度について、警察の相談窓口が最も高かった。相談窓口の認知度が向上するよう大学としても情報発信を引き続き行っていく必要があると考える。

◇質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

＜回答＞	2022年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	61.9%	2021年度との比較-0.2 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	43.1%	2021年度との比較-4.2 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	16.2%	2021年度との比較-0.3 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	15.4%	2021年度との比較-0.6 ポイント
特になし	20.0%	2021年度との比較+1.1 ポイント

「薬物乱用による健康被害情報」や「薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報」に対する欲求が高いことから、質問17の相談窓口に加えて、これらに関する情報発信を引き続き行っていく必要があると考える。

◇質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

＜回答＞	2022年度	参考値
不可能だ	37.8%	2021年度との比較-0.1 ポイント
かなり難しい	23.9%	2021年度との比較-1.2 ポイント
難しいが手に入る	26.2%	2021年度との比較+0.9 ポイント
手に入る	12.1%	2021年度との比較+0.4 ポイント

入手可能と考えている人(「難しいが手に入る」「手に入る」)の割合が38.3%となっており、入手可能と考えている人が1.3ポイント増加した。

◇質問19(イ) 【質問19(ア)で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

＜回答＞	2022年度	参考値
SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから	89.3%	2021年度との比較-1.3 ポイント
SNSやインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	9.5%	2021年度との比較+1.8 ポイント
それ以外	7.3%	2021年度との比較-0.6 ポイント

入手可能と考えた理由について、大半が「SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから」と答えている。

◇質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。(どちらかを選択)

＜回答＞	2022年度	参考値
知っている	74.4%	2021年度との比較+1.8 ポイント
知らなかった	25.6%	2021年度との比較-1.8 ポイント

危険ドラッグに対する罰則の認知度が増加傾向となっているものの、危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要があると考える。

共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	非常に関心がある	993	5.3%
2	ある程度関心がある	6,247	33.1%
3	どちらともいえない	5,357	28.4%
4	あまり関心がない	2,622	13.9%
5	ほとんど関心がない	3,604	19.1%
6	不明	24	0.1%
	合計	18,847	100.0%

共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	14,639	77.8%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	16,027	85.2%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	17,323	92.0%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	14,849	78.9%
5	あへん類(ヘロインなど)	11,335	60.2%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	3,761	20.0%
7	MDMA(エクスタシーなど)	9,957	52.9%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	12,529	66.6%
9	知っているものはない	782	4.2%
	合計	18,822	100.0%

【前の質問であげた薬物についてお聞きます】

共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	かっこいい	115	0.6%
2	気持ち良くなれる気がする	1,050	5.6%
3	ダイエットに効果がある	72	0.4%
4	眠気覚ましに効果がある	144	0.8%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	149	0.8%
6	心や体に害がある	14,267	75.8%
7	犯罪に巻き込まれる	14,312	76.0%
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	13,355	71.0%
9	1回でも使うと止められなくなる	14,477	76.9%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	12,786	67.9%
11	特にない	1,218	6.5%
12	わからない	463	2.5%
	合計	18,823	100.0%

共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	罰せられる	17,874	94.8%
2	罰せられるものもある	533	2.8%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	31	0.2%
4	罰せられることはない	40	0.2%
5	わからない	331	1.8%
6	不明	38	0.2%
	合計	18,847	100.0%

共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	あった	18,145	96.3%
2	なかった	659	3.5%
3	不明	43	0.2%
	合計	18,847	100.0%

共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	17,786	94.5%
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	16,350	86.9%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	15,341	81.5%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	12,523	66.6%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	16,700	88.8%
6	知らなかった	442	2.3%
	合計	18,816	100.0%

共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	小学校の授業	11,663	62.0%
2	中学校の授業	16,917	89.9%
3	高校の授業	16,646	88.4%
4	大学が配布しているリーフレット等	490	2.6%
5	大学での啓発ビデオ	202	1.1%
6	大学での講演会	150	0.8%
7	友達、仲間、先輩、後輩	991	5.3%
8	家族	1,301	6.9%
9	ポスター、パンフレット	2,905	15.4%
10	本、雑誌	1,469	7.8%
11	新聞	1,340	7.1%
12	テレビ	6,666	35.4%
13	ラジオ	195	1.0%
14	携帯電話	981	5.2%
15	インターネット	4,247	22.6%
16	SNS	2,589	13.8%
17	その他	124	0.7%
	合計	18,822	100.0%

共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知りたい	4,976	26.4%
2	知りたいとは思わない	5,057	26.8%
3	どちらでもない	8,797	46.7%
4	不明	17	0.1%
	合計	18,847	100.0%

共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	9,464	50.4%
2	家庭	2,098	11.2%
3	地域活動、自治体等の広報誌	1,653	8.8%
4	図書館、公民館	1,308	7.0%
5	保健所	1,798	9.6%
6	警察	3,880	20.6%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,494	13.3%
8	病院	2,160	11.5%
9	インターネット	4,707	25.0%
10	講演会、座談会	2,465	13.1%
11	特になし	2,732	14.5%
12	その他	229	1.2%
	合計	18,795	100.0%

共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思えますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	12,484	66.5%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	1,782	9.5%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	6,734	35.9%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	2,584	13.8%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3,822	20.3%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	5,662	30.1%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1,816	9.7%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	8,020	42.7%
9	学校や家庭がおもしろくない	3,231	17.2%
10	わからない	1,047	5.6%
11	その他	381	2.0%
	合計	18,782	100.0%

共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	16,633	88.3%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	110	0.6%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,592	8.4%
4	その他	372	2.0%
5	不明	140	0.7%
	合計	18,847	100.0%

共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	ない	17,184	91.2%
2	ある	1,571	8.3%
3	不明	92	0.5%
	合計	18,847	100.0%

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘われたり、勧められたことはない	17,552	93.1%
2	購入を勧められたことがある	74	0.4%
3	使用を誘われたことがある	156	0.8%
4	無理やり使わされたことがある	32	0.2%
5	わからない	960	5.1%
6	不明	73	0.4%
	合計	18,847	100.0%

共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	17,404	92.7%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	696	3.7%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	48	0.3%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	82	0.4%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	208	1.1%
6	わからない	643	3.4%
7	その他	136	0.7%
	合計	18,776	100.0%

共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	いない	16,734	88.8%
2	いる(いた)	585	3.1%
3	わからない	1,452	7.7%
4	不明	76	0.4%
	合計	18,847	100.0%

【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

共通質問15(イ) どの薬物でしたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	49	8.4%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	76	13.1%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	313	54.0%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	31	5.3%
5	あへん類(ヘロインなど)	6	1.0%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	24	4.1%
7	MDMA(エクスタシーなど)	24	4.1%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	33	5.7%
9	わからない	165	28.4%
	合計	580	100.0%

共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	使用をやめるよう説得する	10,289	54.6%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2,353	12.5%
3	警察に通報する	2,300	12.2%
4	医療機関や保健所等に連絡する	593	3.1%
5	個人の自由であるので放っておく	665	3.5%
6	わからない	1,464	7.8%
7	その他	1,027	5.4%
8	不明	156	0.8%
	合計	18,847	100.0%

共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	警察の相談窓口	6,427	34.3%
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	2,127	11.3%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	1,595	8.5%
4	医療機関の相談窓口	2,339	12.5%
5	民間の支援団体の相談窓口	1,725	9.2%
6	知らない	10,723	57.2%
7	その他	90	0.5%
	合計	18,757	100.0%

共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために
知りたいと思う情報は何ですか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物乱用による健康被害情報	11,596	61.9%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	8,080	43.1%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3,030	16.2%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	2,890	15.4%
5	特になし	3,746	20.0%
6	その他	177	0.9%
	合計	18,747	100.0%

共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	不可能だ	7,100	37.7%
2	かなり難しい	4,478	23.8%
3	難しいが手に入る	4,914	26.1%
4	手に入る	2,273	12.1%
5	不明	82	0.4%
	合計	18,847	100.0%

【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

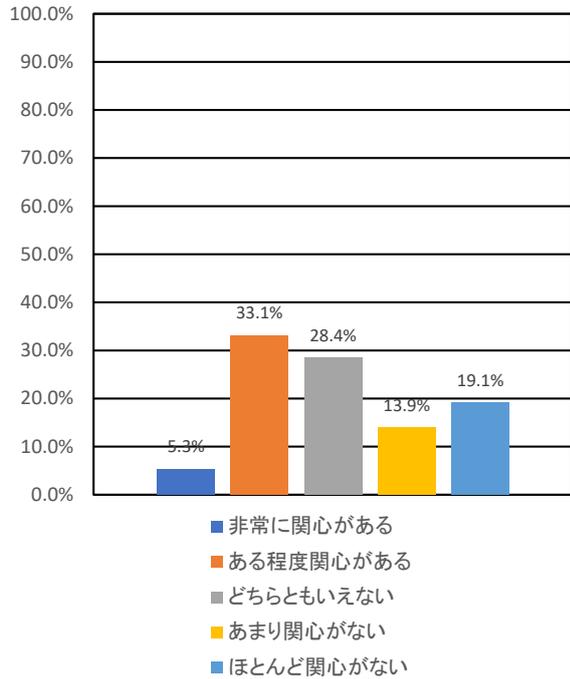
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから	6,371	89.3%
2	SNSやインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	675	9.5%
3	それ以外	518	7.3%
	合計	7,138	100.0%

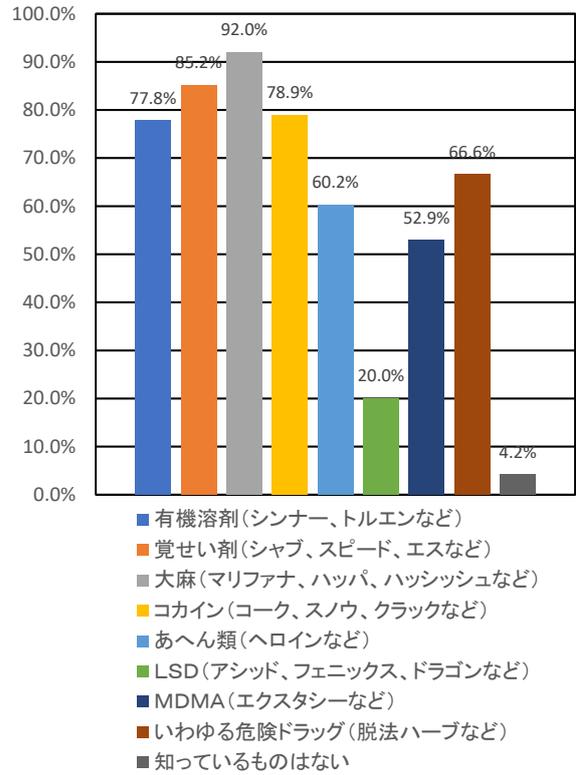
共通質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品
(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると
罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知っている	13,827	73.4%
2	知らなかった	4,758	25.2%
3	不明	262	1.4%
	合計	18,847	100.0%

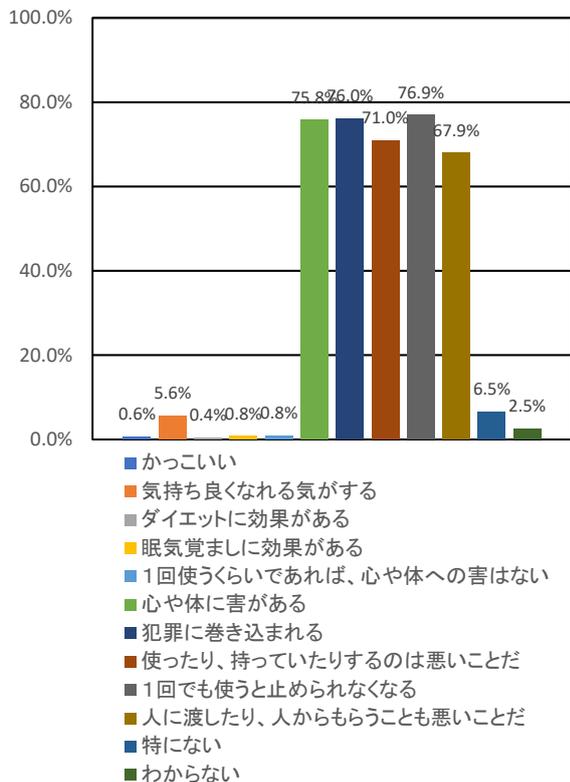
共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について
関心がありますか。(1つ選択)N=18,847



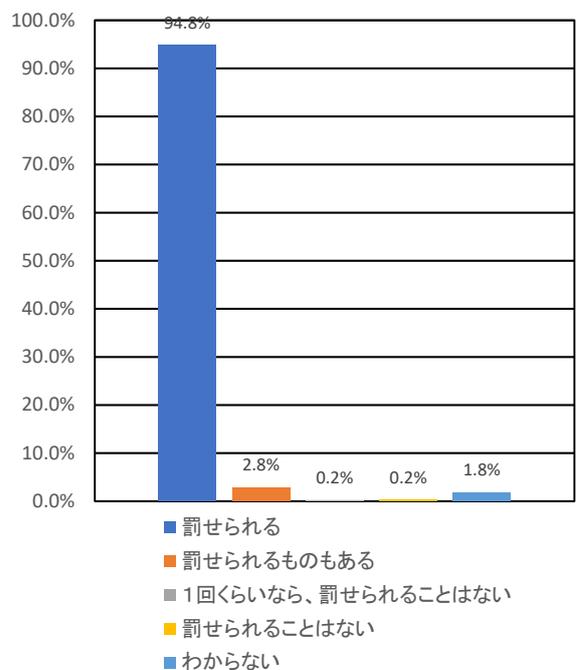
共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知
っていますか。(複数選択可)N=18,822



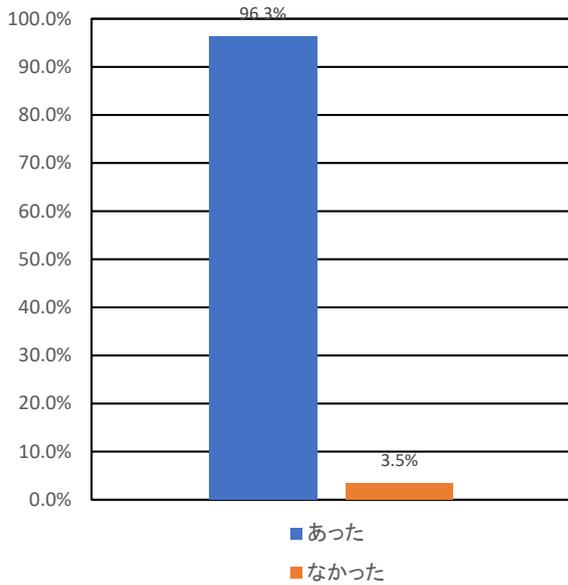
共通質問3 あなたは、これらの薬物について
どのような印象を持っていますか。(複数選択
可)N=18,823



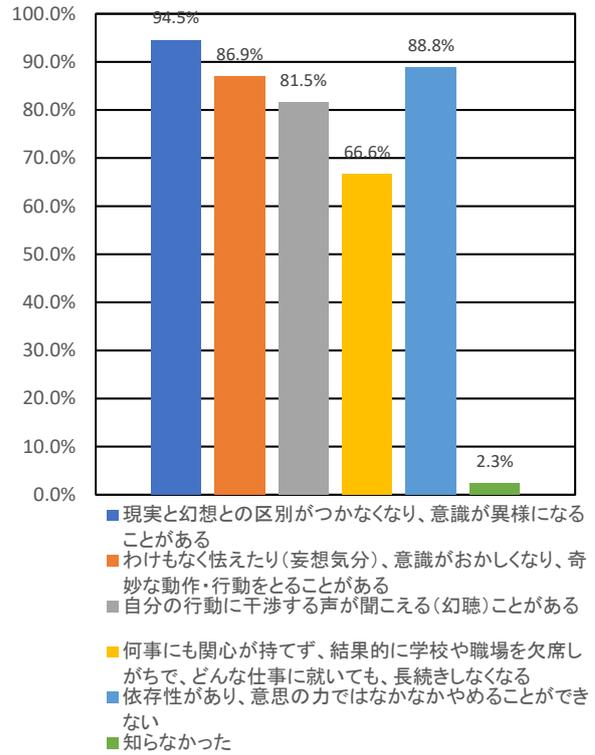
共通質問4 あなたは、これらの薬物を使っ
たり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡
したり、譲渡された場合、どうなると
思いますか。(1つ選択)N=18,847



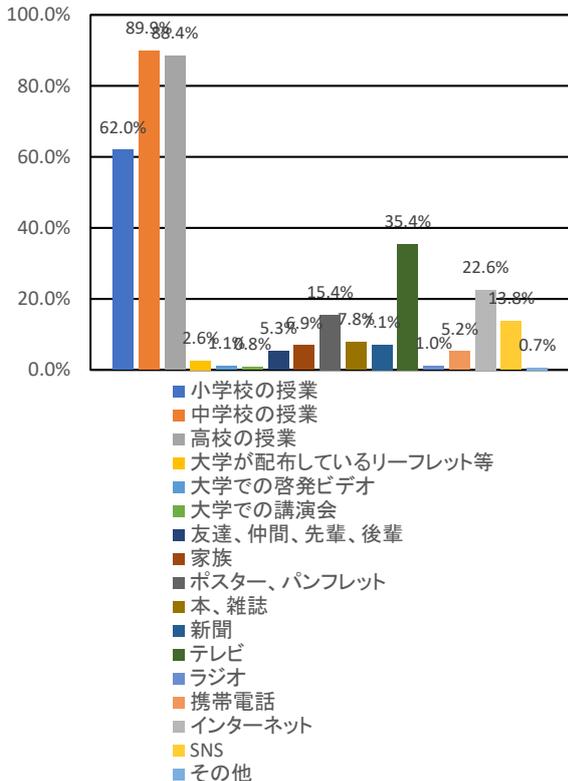
共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかを選択) N=18,847



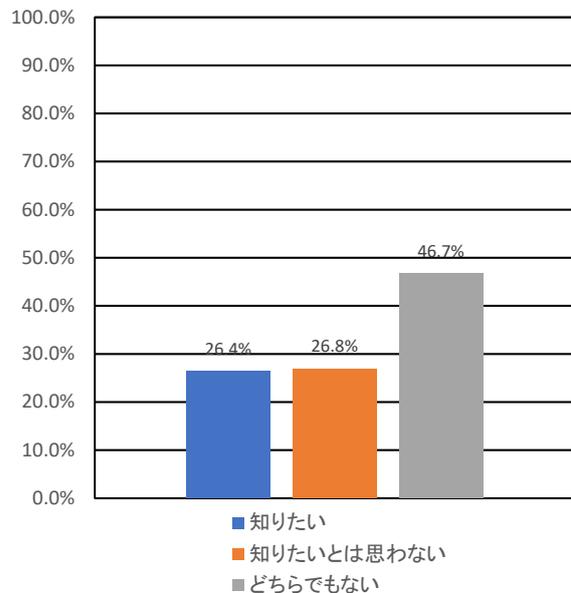
共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下になることがあるのを知っていましたか。(複数選択可) N=18,816



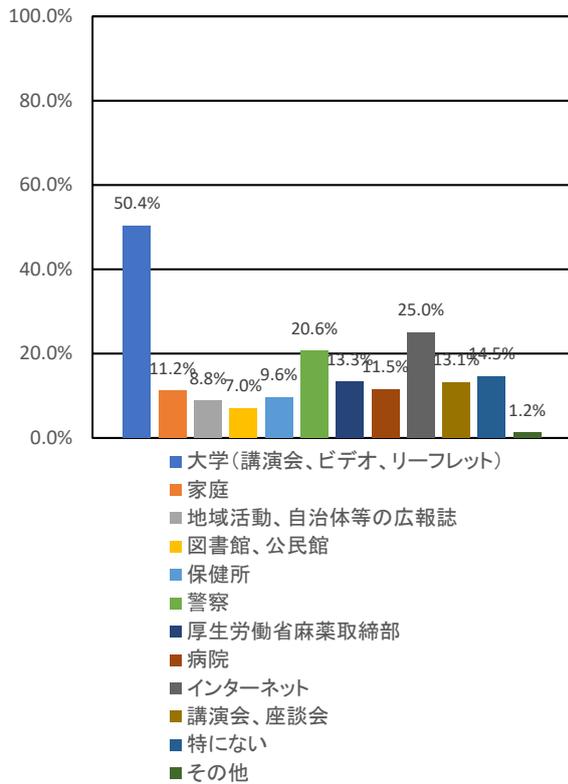
共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可) N=18,822



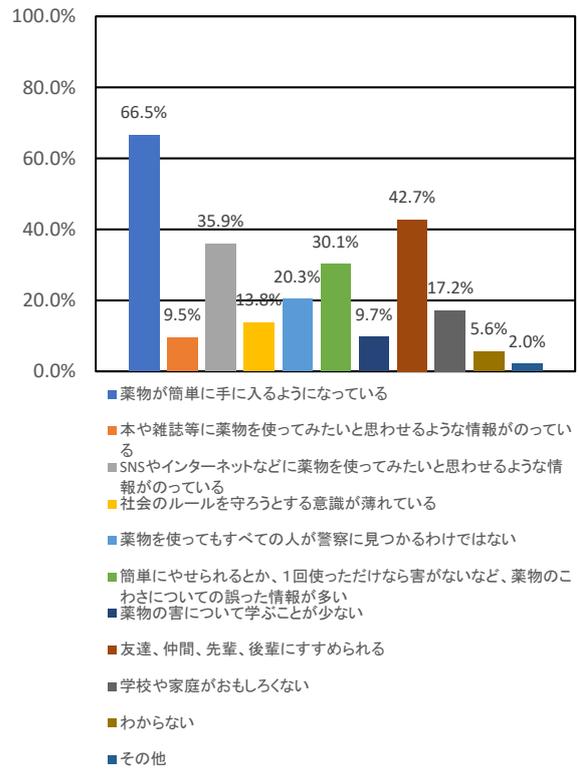
共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択) N=18,847



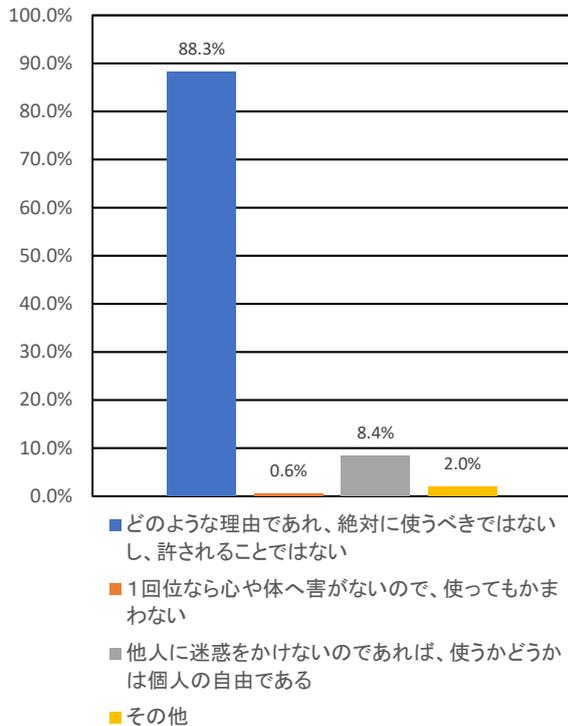
共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可)N=18,795



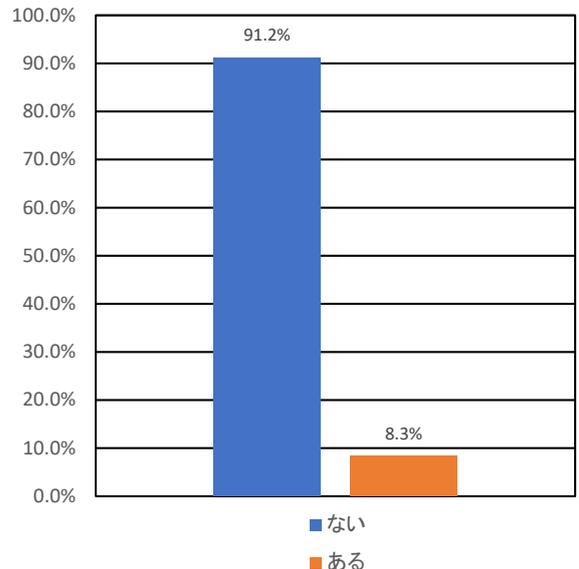
共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数選択可)N=18,782



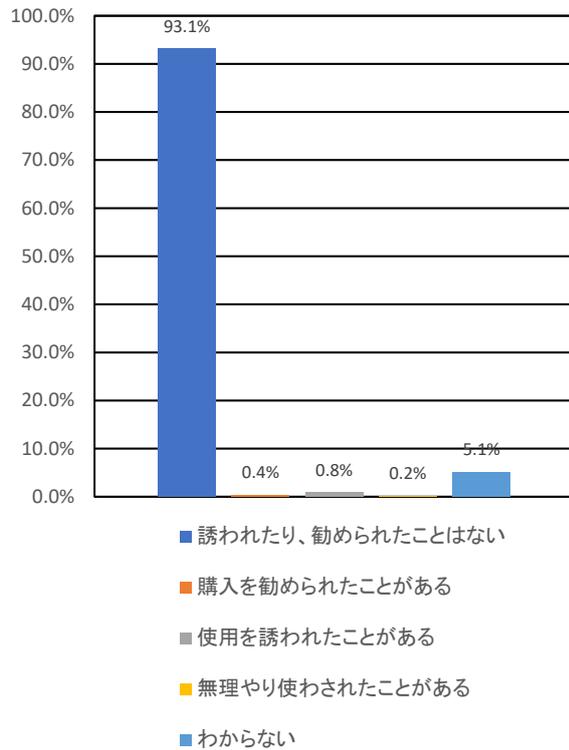
共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)N=18,847



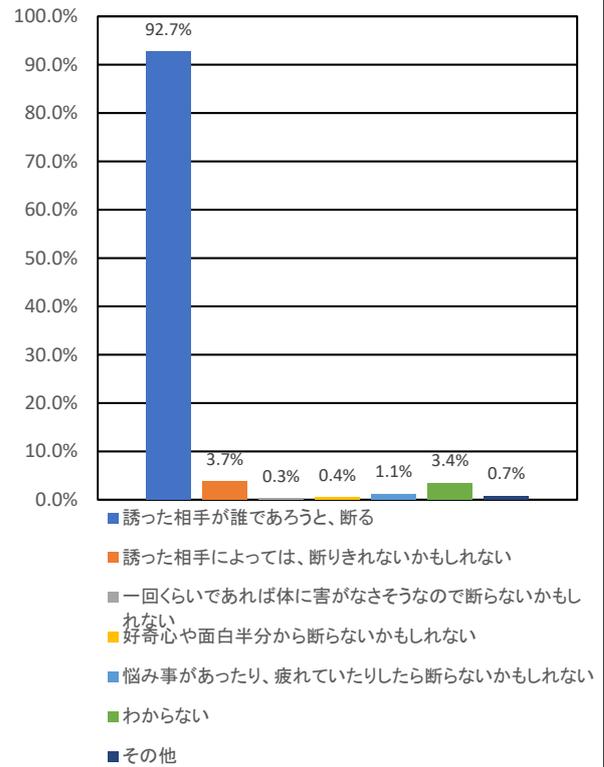
共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかを選択)N=18,847



共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)N=18,847

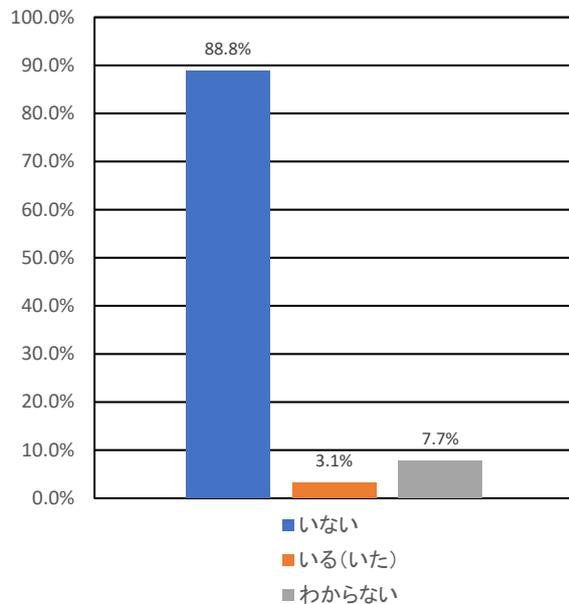


共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可)N=18,776

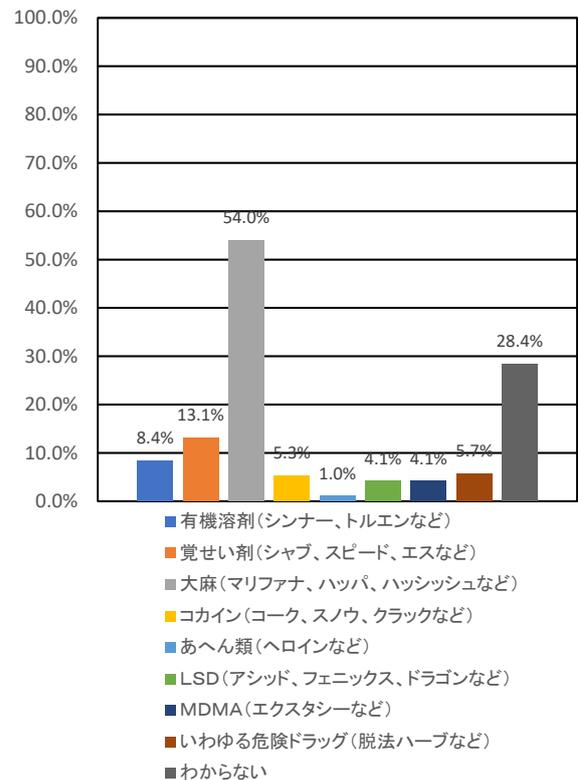


【前の質問で「いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

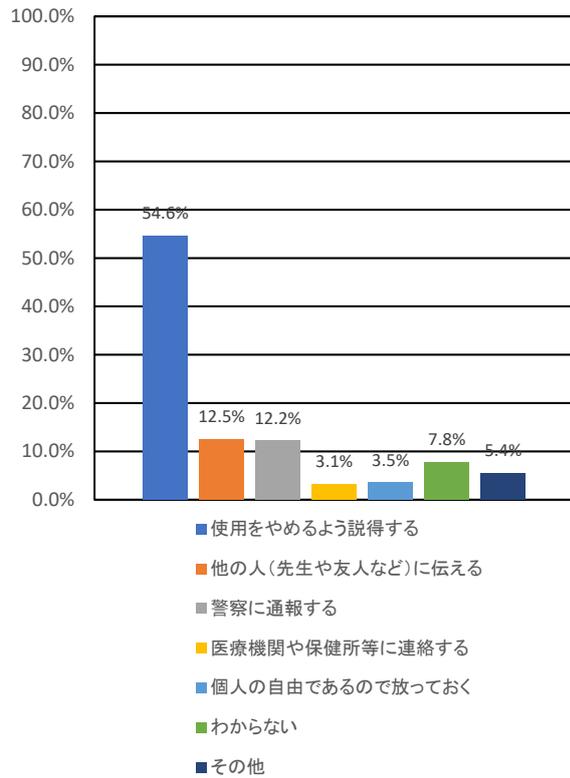
共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)N=18,847



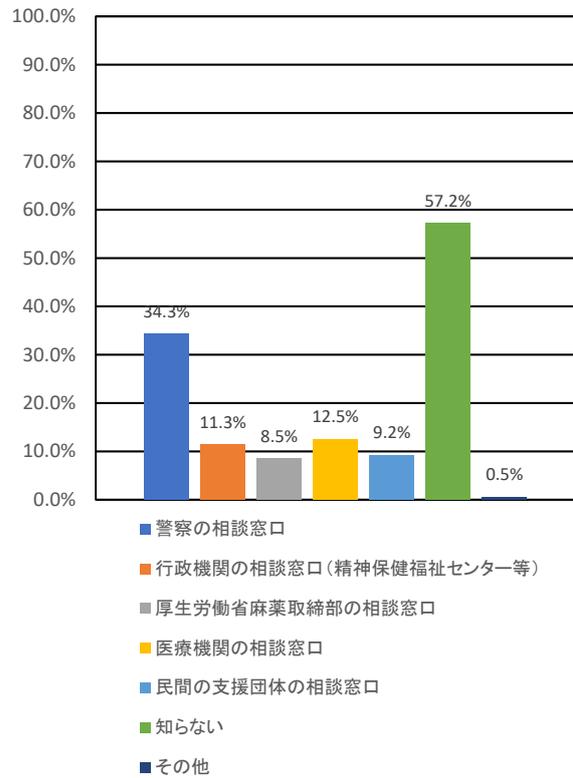
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数選択可)N=580



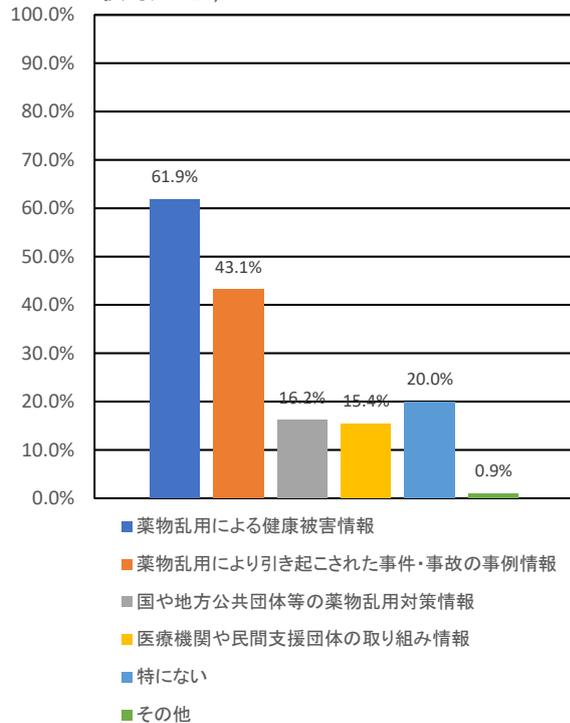
共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択)N=18,847



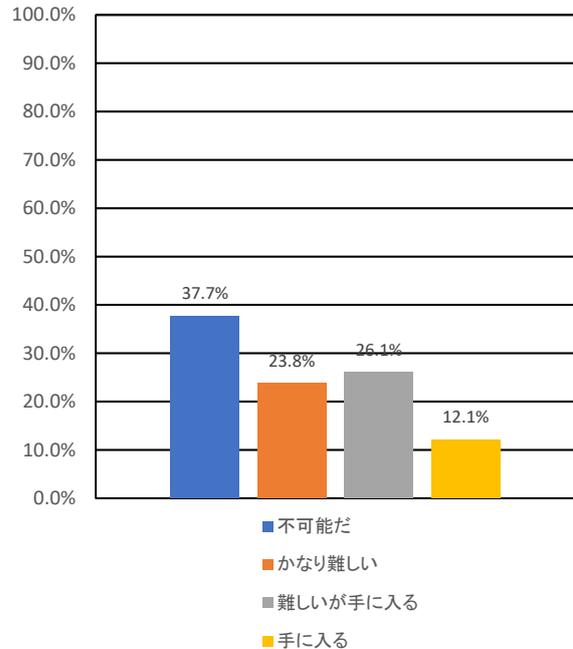
共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)N=18,757



共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)N=18,747



共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物入手可能と考えますか。(1つ選択)N=18,847



【前の質問で「難しいが手に入る」または「手に入る」を選択した人だけお答えください】

